

第二十三回

# 小さな展覧会

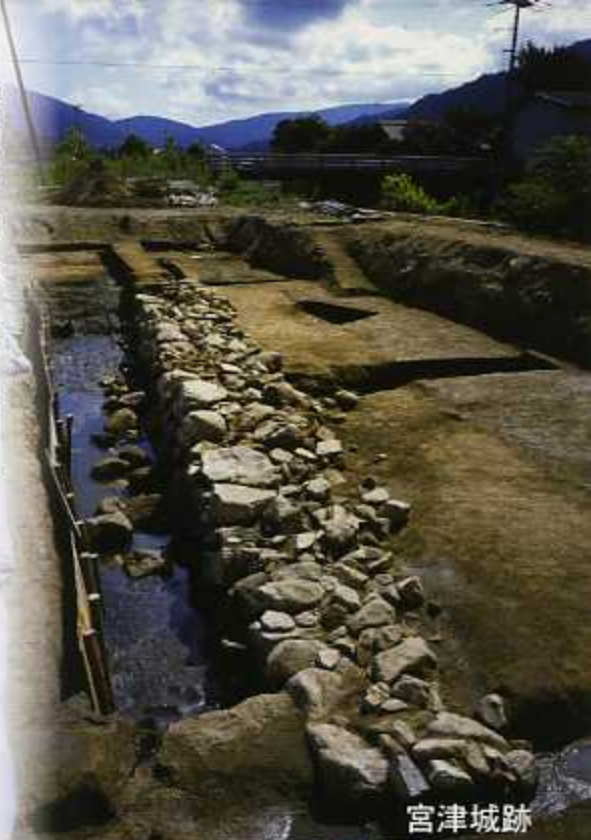
平成18年度京都府内遺跡発掘調査成果速報



内田山B 8号墳



難波野遺跡



宮津城跡



城谷口2号墳

期間：平成19年8月11日(土)～26日(日)



主催 (財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター  
後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館



## 展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、平成18年度に27件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、その中で特に注目された調査を取り上げ、京都府内の各関係機関の発掘成果とあわせて展示することといたしました。

この展覧会は、平成18年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことを目的に開催するものです。展示にあたっては、よりわかりやすく、親しみやすい展示になるように心がけたつもりです。

今回の展覧会に後援いただいた京都府教育委員会、協賛いただいた向日市文化資料館をはじめ、御協力賜った各関係機関に対し、深く感謝します。

平成19年 8月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター  
理事長 上田 正昭



### 凡 例

1. 本書は、平成19(2007)年8月11日～8月26日まで、向日市文化資料館で開催する、第23回「小さな展覧会～平成18年度京都府内遺跡発掘調査成果速報～」の図録である。
2. 展示資料は、当調査研究センターおよび京都府内の各教育委員会・各機関が、主として平成18年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。なお、展示資料は、都合により員数等が異なる場合がある。
3. 開催期間中の8月18日(土)に、第108回埋蔵文化財セミナーを開催する。
4. 資料調査、図録作成、展示資料借用にあたっては、次の機関から御指導、御協力を受けた。  
(順不同・敬称略) 宮津市教育委員会・舞鶴市教育委員会・福知山市教育委員会・綾部市教育委員会・綾部市資料館・南丹市教育委員会・亀岡市教育委員会・(財)京都市埋蔵文化財研究所・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・大山崎町教育委員会・城陽市教育委員会・井手町教育委員会・木津川市教育委員会・京都府教育委員会
5. 本図録の掲載写真は、当調査研究センター撮影のもののほかは、上記の各教育委員会・各機関の所属である。
6. 本図録は、京都府立山城郷土資料館の協力のもとに作成した。



# 丹 後

## 【成相寺旧境内】

宮津市字成相寺  
宮津市教育委員会調査

成相寺は、天橋立を南に望む山腹にある霊場です。現在の本堂より70mほど上にある旧境内を調査しました。創建時期が8世紀にさかのぼることがわかりました。鎌倉時代の古墳や室町時代の懸仏などが出土しました。旧境内には15世紀まで多数の伽藍が営まれ、その後、焼失し、現在の場所に本堂が移ったことがわかりました。



成相寺旧境内から天橋立を望む

## 【難波野遺跡】

宮津市大垣～江尻  
当調査研究センター調査

天橋立の北側に位置しており、古墳時代中期の土器をたくさん並べてマツリを行った跡や平安時代から鎌倉時代頃の建物跡・井戸などがみつかりました。遺物には、平安時代後期の木筒や鎌倉時代の漆絵のある漆器碗などがあります。これまでの調査で、弥生時代中期の石を貼った墓もみつかり、さまざまな性格が考えられる遺跡です。



天橋立と難波野遺跡

## 【宮津城跡】

宮津市鶴賀  
当調査研究センター調査

宮津城跡は、大手川河口部の東側に築かれた近世城郭で、細川藤孝が築城し、慶長5(1600)年の関ヶ原の合戦で廃城となり、その後、京極高広が再建したと言われています。調査の結果、城南西部で、門跡に関連する石垣などがみつかりました。出土遺物から1620年代に構築されたと考えられ、京極高広が再建する年代(1622年)に相当します。



宮津城の石垣と大手川



# 丹 波 (1)



段丘縁辺に形成された河守北遺跡

## 【河守北遺跡】

福知山市大江町河守  
当調査研究センター調査

<sup>みやがわ</sup>宮川が<sup>ゆらがわ</sup>由良川に合流する左岸台地上にある遺跡です。奈良時代の溝から、奈良時代前期の「丘田」・「福」と墨書された土器、人形・鳥形木製品や軒丸瓦が出土しており、古代の寺院、もしくは役所などがあったと推定されます。縄文土器、弥生時代の竪穴式住居跡、古墳時代の護岸施設、奈良・平安時代の掘立柱建物跡などもみつかりました。



安井北古墳群の調査風景

## 【安井北古墳群】

福知山市安井  
福知山市教育委員会調査

<sup>まきがわ</sup>牧川と由良川の合流点を望む丘陵にある古墳群です。1号墳と2号墳を調査しました。1号墳は直径12mの円墳で、木棺が1基みつかりました。木棺には、須恵器や鉄器、玉類が副葬されていました。2号墳では木棺が3基みつかりました。鈴のついた高杯や小さな壺の付いた「はそう」など、珍しい須恵器が供えられていました。



たくさんみつかった飛鳥時代の竪穴式住居跡

## 【土遺跡】

福知山市土  
福知山市教育委員会調査

綾部と福知山を結ぶ盆地の中央付近にあります。飛鳥時代の竪穴式住居跡が6基、鎌倉時代の掘立柱建物跡などがみつかりました。竪穴式住居跡は、『<sup>あなの</sup>青野型』という、由良川流域に特徴的なものです。この住居付近から、文字が書かれた須恵器が出土しました。飛鳥時代の住居跡群は、古代の役所と関係する建物跡かもしれません。



## 丹 波 (2)

### 【加迫古墳群】

綾部市西神宮寺町  
綾部市教育委員会調査

古墳時代後期末の古墳群で、5基を調査しました。やや大型の3号墳を囲んで他の古墳が分布しています。3号墳では、全長6.7mの両袖式横穴式石室がみつかりました。玄室床面は石敷きで、鉄斧、鉄製馬具、鉄鏃などが出土しました。4号墳では副葬品が多数みつかり、被葬者への土器類・鉄器類の副葬の様子が良くわかります。



加迫3号墳の両袖式横穴式石室

### 【城谷口古墳群】

南丹市八木町北広瀬  
当調査研究センター調査

5世紀～7世紀にかけて造られた古墳群です。はじめに方墳が造られ、新しくなると円墳に変わります。方墳の中でも3号墳は、南丹市最大級の方墳であることがわかりました。円墳はすべて横穴式石室です。2号墳は南丹波地域でも古い形態の石室で、蛇行剣や鉄鐸といった当時九州や朝鮮半島で流行していた遺物が出土しました。



古い形式を保つ城谷口2号墳の横穴式石室

### 【室橋遺跡】

南丹市八木町室橋  
当調査研究センター調査

亀岡盆地の北端に位置する弥生時代から鎌倉時代にかけての遺跡です。弥生時代後期から古墳時代前期にかけて使われた大溝や、古墳時代の竪穴式住居跡、奈良時代の建物跡がみつかりました。奈良時代の建物跡はこの時代には少ない竪穴式住居跡で、漁網に用いる土錘や鉄滓が出土しました。工房跡の可能性もあります。



工房跡とみられる奈良時代の竪穴式住居跡



## 丹波(3)



北上空からみた野条遺跡

### 【野条遺跡】

南丹市八木町室橋  
当調査研究センター調査

亀岡盆地の北端に位置する平安時代の集落跡です。平安時代中期から末期の頃の建物跡や溝がみつかりました。平安時代末期の建物は南北にならび、建物を区画する溝が東西方向に掘られていました。建物跡の柱穴からは、古代の計量秤に用いる分銅(おもり)が出土しています。有力者の住まいや倉庫などがあったと考えられます。



発掘中の時塚3号墳

### 【時塚遺跡】

亀岡市馬路町時塚  
当調査研究センター調査

遺跡は、亀岡盆地東北部の微高地に位置しています。この地域を代表する弥生時代中期の集落です。今回の調査では、方形周溝墓がたくさんみつかり、弥生土器や磨製石器類などもたくさん出土しました。古墳時代後期の円墳1基、奈良・平安時代の掘立柱建物群もあり、この地域が古代に要衝の地であったことが判明しました。



八角形墳の可能性のある国分45号墳

### 【国分古墳群】

亀岡市千歳町国分  
当調査研究センター調査

丹波国分寺の東にある古墳時代後・終末期の群集墳で、中・小規模な横穴式石室墳21基を調査しました。国分26号墳・29号墳・56号墳は、武器と馬具を副葬していました。7世紀中頃の国分45号墳は、墳丘・石室とも大きく、墳丘の上段が石列により区画された八角形、下段は不整形円形でした。銀装大刀が鉄鏃などとともに出土しており、地位の高い人物の墓です。



# 山城(1)

**【上里遺跡】** かみさと京都市西京区上里・長岡京市井ノ内  
(財)京都市埋蔵文化財研究所調査

小畑川の河岸段丘に立地する縄文時代～中世の複合遺跡です。縄文時代晩期中葉(今から約2,500年前)の竪穴式住居跡5基や土器棺墓4基、土壙墓などが発見されました。住居跡のひとつは、直径約4mの円形です。壁際には柱跡がめぐり、住居の中央に炉があります。晩期の住居跡は報告例が少なく、具体的に集落の様子がわかる貴重な発見です。



縄文時代晩期の竪穴式住居跡群

**【長岡宮跡】** ながおかきゅう向日市鶏冠井町荒内  
(財)向日市埋蔵文化財センター調査

奈良時代以前の都城では、朝堂院・大極殿院の北側に内裏が置かれていました。しかし、長岡宮では、大極殿の東側に内裏があります。平成18年度の調査で、大極殿の北側で巨大な柱穴がみつかりました。「西宮」から「東宮」に移転したとする文献の記述を裏付ける成果として重要なものです。



「西宮」にかかわる巨大な柱穴を発見！

**【神足遺跡】** こうたり長岡京市東神足  
(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

小畑川の形成する段丘上、現在のJR「長岡京」駅の一带には、今から2,000年ほど前の大規模な弥生時代の集落があります。これまでに多数の竪穴式住居跡からなる居住域と、方形周溝墓や木棺墓からなる墓域が、環濠をはさんでみつかりました。また、近年の調査で、集落の中で玉を作っていた証拠がみつかりました。



弥生時代中期の竪穴式住居跡



## 山城(2)



上空からみた伊賀寺遺跡

### 【伊賀寺遺跡】

長岡京市下海印寺  
当調査研究センター調査

小泉川左岸の段丘縁辺部に位置する集落遺跡で、古墳時代の竪穴式住居跡5棟、古墳時代の流路跡、長岡京期の可能性のある溝などを検出しました。住居跡は古墳時代中期のものと後期のものがあります。古墳時代後期の流路跡からは鉄滓やフイゴの羽口などが出土しました。金属生産が行われる程度の大きな集落であったと想定されます。



境野1号墳の墳丘をめぐる円筒埴輪列

### 【境野1号墳】

乙訓郡大山崎町字下植野  
大山崎町教育委員会調査

乙訓地域で最も南に位置する、全長約60mの4世紀後半の前方後円墳です。墳丘は、前方部では3段に築かれ、斜面に葺石、各平坦面に埴輪列が施されています。とくに、東くびれ部周辺で出土した家形埴輪は古い形式で、古墳の上で行われたマツリに用いられたものと考えられます。



厚い堆積層の下から現れた中世の耕作地

### 【木津川河床遺跡】

八幡市八幡  
当調査研究センター調査

木津川河床遺跡は、桂川・宇治川・木津川が合流する沖積地にあります。弥生時代から江戸時代にかけての集落遺跡です。今回の調査地は、古墳時代には集落の縁辺にあたり、旧木津川の堤防と推測されます。中世以降は、耕作地として利用されています。古墳時代前期の大型の壺や古墳に副葬されることが多い琴柱形石製品が出土しました。



## 山城(3)

### 【新遺跡】

京田辺市薪  
当調査研究センター調査

木津川左岸の沖積地に立地する集落遺跡です。奈良時代の土地開発で壊された4基の古墳がみつかりました。遺跡からは、奈良時代の遺物がたくさん出土しました。円面硯や、銅製ベルト金具(蛇尾)など、役人が使ったとみられる道具がみられるので、この遺跡は、当時の役所跡かもしれません。



奈良時代の集落と、当時壊された古墳

### 【芝ヶ原9号墳】

城陽市久世  
城陽市教育委員会調査

13基からなる芝ヶ原古墳群の一つで、久世小学校の中庭に保存されています。9号墳は、直径約26mの古墳時代中期の円墳で、11・10号墳に続いて築かれたことがわかっています。今回の発掘では、段築・葺石・埴輪列がみつかり、埋葬施設は粘土槨と想像されます。埋葬施設の上面から朝鮮半島からの舶載品である陶質土器が出土しました。



被葬者に供えられた陶質土器

### 【井手寺跡】

綴喜郡井手町井手  
井手町教育委員会調査

寺域確認調査で、これまでに壮大な礎石や建物跡、石敷等がみつかりました。今回の発掘では石組みの雨落溝を伴う僧房か食堂とみられる建物がみつかり、寺域が200m四方以上に広がることも明らかとなりました。新たに出土した平城京跡と同じ文字瓦とともに、井手左大臣といわれた橘諸兄の権勢の一端をうかがうことができます。



上空からみた井手寺調査風景



## 山城(4)



築地塀と南門の跡

### 【高麗寺跡】

木津川市山城町上狛  
木津川市教育委員会調査

東に塔、西に金堂が並ぶ法起寺式の伽藍配置です。寺域の南限である築地塀と南門がみつかりました。南門は、梁間2間、桁行3間の八脚門と想定され、鴟尾で飾った壮麗な門だったようです。南門は伽藍中軸線上ではなく、金堂の正面に当たり、その意味について今後の大きな課題となりました。

### 【内田山B 8号墳】

木津川市木津内田山  
当調査研究センター調査

JR木津駅の東側丘陵上に築かれた古墳群で、これまでにB支群8基の方墳を調査しました。B1号墳とB2号墳の埋葬施設では、銅鏡や玉類など多くの副葬品が出土しました。B8号墳は大部分が壊されていますが、周溝内から多数の家形埴輪が出土しました。家形埴輪は、古墳の陸橋上に置かれていたものが転落したとみられます。



内田山B支群の全景

### 【恭仁宮跡】

木津川市加茂町例幣  
京都府教育委員会調査

恭仁宮は聖武天皇によって造られた奈良時代の宮都です。大極殿の西側で大極殿院回廊の柱を支えた礎石をすえ付けた跡がみつかりました。柱穴の間隔は、15.5尺(約4.6m)で南北に4基が並んで見つかりました。大極殿院回廊も大極殿と同様に平城宮から移築されたと考えられますが、今回の成果によりその可能性が高まりました。



大極殿院回廊の柱を支えた礎石跡



## 主な展示遺物



水辺のマツリに用いられた土器群（難波野遺跡）



墓に供えられた中国製の青磁（成相寺旧境内）



文字の書かれた須恵器（土遺跡）



めずらしい形をした須恵器の壺（国分古墳群）



磨製の農具と武器（時塚遺跡）



飾り台のついた大きな硯（新遺跡）



琴柱形石製品（木津川河床遺跡）



家形埴輪（内田山B 8号墳）



## 展示品出土遺跡一覧

### 【センター調査遺跡】

難波野遺跡（宮津市）  
城谷口古墳群（南丹市）  
国分古墳群（亀岡市）  
木津川河床遺跡（八幡市）

宮津城跡（宮津市）  
野条遺跡（南丹市）  
時塚遺跡（亀岡市）  
薪遺跡（京田辺市）

河守北遺跡（福知山市）  
室橋遺跡（南丹市）  
伊賀寺遺跡（長岡京市）  
内田山B 8号墳（木津川市）

### 【府・市町村の調査遺跡】

成相寺旧境内（宮津市）  
安井北古墳群（福知山市）  
上里遺跡（京都市）  
境野1号墳（大山崎町）  
高麗寺跡（木津川市）

田畔遺跡（舞鶴市）  
加迫古墳群（綾部市）  
長岡宮跡（向日市）  
芝ヶ原9号墳（城陽市）  
恭仁宮跡（木津川市）

土遺跡（福知山市）  
出雲遺跡（亀岡市）  
神足遺跡（長岡京市）  
井手寺跡（井手町）  
\*印は、パネルのみ展示



第23回「小さな展覧会」図録 発行日 2007年8月11日

編集・発行 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40-3 TEL.075-933-3877 Fax.075-922-1189  
ホームページアドレス <http://www.kyotofu-mailbun.or.jp> 印刷 三星商事印刷(株)  
この図録は再生紙を使用しています。